

令和4年度 学校関係者評価実施報告書

学校番号	33.1	学 校 名	清水南高等学校	記 載 者	白石 実里
------	------	-------	---------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	新学習指導要領に基づいた授業改善を進め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。	「授業で力がついた」と答える生徒の割合：80%	A	A	今後も継続するよう取り組んで欲しい。
		授業公開週間実施回数：年間3回 外部講師による講演満足度：80%	A	A	今後も継続して取り組んで欲しい。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合：80%	B	B	目標を達成することはできているが、高校での値が中等部に比べて低下している。学年での推移を見守りたい。
		測定ツールで把握した学力に基づき授業改善に取り組んだ教員：80%	B	B	目標を概ね達成することができている。
イ	中高6年間を見通したキャリア教育の充実を図る。	「自らの進路についてより深く考えるようになった」と答える生徒の割合：80%	A	A	今後も継続して取り組んで欲しい。
		講演、講義等の回数：年間合計10回	A	A	大学や企業と生徒をZOOMでつなげ、講義を受ける機会を作り出すことも考えてはいかがか。
		大学、企業等の訪問回数：年間合計10回	C	B	回数でなく生徒の満足度で測るなど、成果目標の立て方を再考してはどうか。
ウ	自己有用感を高めるとともに、教育相談体制を充実させ、心身ともに健康な生徒を育成する。	「自分には良いところがある」と答える生徒の割合：80%	C	C	値が上がったり、下がったりしたときに、教員がどのように手を打ったかが大切である。生徒同士が褒め合う、認め合う環境を作るよう取り組んで欲しい。
		「自ら進んであいさつをしている」と答える生徒の割合：80%	A	A	今後も継続するよう取り組んで欲しい。
		教員参加による交通安全街頭指導の実施：年間10回	A	A	学校の自己評価どおりでよい。
		長期欠席生徒(年間欠席30日以上)及び転退学者：0人	B	B	SC等の時間を増やした成果が表れてよかったが、今後も転退学者を出さない方策を考えて欲しい。
		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合：80%	A	A	SC等の時間を増やした成果が表れてよかった。
		「保健だより」の発行：年間12回	A	A	細やかな心遣いが見える。心と共に身体のケアにも心を配って欲しい。

エ	学 校 行 事、部活 動等の充 実を図る とともに、アカ デ ミ ッ ク・ハイ スクールの取組を 推進し、 豊かな感 性や表現 力を育て る。	部活動に一生懸命取り組む生徒 の割合：80%以上	A	A	部活動の種類が少ない中、ダンス 部の創設も良かったと思う。
		全校読書会の生徒充実度：70% 図書館貸出数：4000 冊以上	A	A	今後も継続するよう取り組んで欲 しい。
		「学校生活が充実している」と答 える生徒の割合：70%	A	A	今後も継続するよう取り組んで欲 しい。
		研修旅行で「充実している」と答 える生徒の割合：90%以上	A	A	今後も継続するよう取り組んで欲 しい。
		「協調性、表現力、集中力が身に 付いた」と答える生徒の割合： 80%	B	B	表現発表会の開催時期がテストや 他の課題提出などの時期と近い と、生徒は「表現」の活動に集中 することができない。行事の実施 時期には注意して欲しい。
		芸術鑑賞、校内演奏会、公開レッ スン等実施回数：年間計 10 回	A	A	経験することは生徒のためになる ことなので、今後も継続して取り 組んで欲しい。
		美術鑑賞、実技講習会等実施回 数：年間計 10 回	A	A	経験することは生徒のためになる ことなので、今後も継続して取り 組んで欲しい。
オ	郷土文化 への理解 を深める とともに、地域 社会や産 学官の連 携を推進 する。	奉仕活動・社会貢献活動経験生 徒：60%以上	C	B	生徒には参加するきっかけが必要 だと思う。コロナ禍で活動に影響 があったので、B でよい。
		海外交流行事実施：1 回以上	A	A	海外交流事業はたくさんやった方 がいい。訪問（対面）でなくても 交流の方法があると思う。
		実践的防災訓練実施：年間 3 回 地域防災訓練参加率：中等部 75%、高校45%	C	B	コロナ禍で活動に影響があったの で、B でよい。地域防災訓練参加 率は成果目標に入れなくていい。
		土曜オープンスクール参加者数：年間 1,600 人 ホームページアクセス：年間500,000件	A	A	HPを色彩的に少し派手にしては どうか。
		平常の清掃、学期初めと終わりの 清掃及び全校清掃の徹底	A	A	学校の自己評価どおりでよい。
カ	安心・安 全な教育 環境の整 備、事務 業務の効 率化、働 き方改革 を含めた 業務改善 を行う。	予算執行等に関する校内研修会 の開催：年 1 回	A	A	学校の自己評価どおりでよい。
		講話や研修等の取組：月 1 回以上	A	A	学校の自己評価どおりでよい。
		夏季休暇の取得率：100% 時間外勤務一ヶ月平均 45 時間以 上の教職員数を前年度より減少 させる	B	B	時間外勤務が少ない方がもちろん 望ましいので、今後も業務改善に 努めて欲しい。
		職員会議における報告の簡潔化 と審議の効率化による勤務時間 内での会議の終了	A	A	学校の自己評価どおりでよい。